

問 24 : あるべき姿を実現するためにどうしたらよいか。

1. 伝える立場ではない。
2. 議員定数を減らし、活気ある議会につなげる。町のチェック機能だけでなく、町民のための政策を提案する。議員の質向上、最低限の知識の取得。
3. 一般町民が町政にもっと関心を持つように議員は自己アピールを含め活動報告を、自分の思いをどんどん発信する(文書よりライブで)。
4. ①議員報酬をあげる。
②年に一度は全議員が自分の声で自分の政策等をケーブルやインターネット等で表明し、町民も直接意見を伝えやすい環境をつくる(eメールなど)。
5. 議員自身が町のあるべき姿を大局的観点から捉え、提言できるようにしていく(そもそもこのような質問をせずに自ら考えてほしい)。
6. 議員になるための講座のようなものを開催し、受講者が議員をやれるか体感する場を議員を立候補する前段階としてつくってみては。
7. 全面的に見直し! 将来のビジョン設定、会社経営者等の意見反映、他市町村との差別化、夢、目標設定。税金を上げるための事業計画。
8. 町政が許せば議員を増やす。
9. 各区長等の議会参加。
10. 今までの上伊那のあり方を変える必要がある。この地域のみダメな風習や自分が良ければそれでいいという自分勝手な思い込みや妄想の人間が多いのが問題。
11. まずなぜ若い方や女性が議員にならないのか理由を考えて、議会の仕組みや運営方法について時代に合わせ柔軟に変えていくことが必要。
12. 保守的な議員よりはチャレンジ精神がある議員の方が進歩していくように思う。
13. 議員の仕事の効率を良くする。物理的制約を軽くする。
14. 本人の考えを聞いてみたかった。
15. ①議員活動で生活していけるだけの報酬がある。
②議員自身がより良い町づくりへの夢を持つ。
16. それを考えるのが議員の仕事、もっと具体的な質問をしてほしい。
17. 町民の声を聞き、議会での実践力のある人。
18. メリット、デメリット、町政としての分析を議会内ですべきである。アンケート前に提言した上で町民がどう思うか問うべき。
19. 若い世代が出馬できる体制作り。基礎票(地票)、地域の協力がなくても出馬できる仕組みづくり。
20. 報酬を増やす。
21. 様々な団体で活躍されている女性は多い。若い世代の方が行動力がある。議員になったときの処遇を具体的に大きく公表する。自らの意見が町を動かすという魅力を伝える。
22. 責任と信頼、PDCA。
23. 10 人位にして仕事を濃縮して議員報酬を上げて若手が参入しやすくしたらどうか。副職的な役を省き、本当に必要な活動に絞る
24. 立候補だけでなく推薦も募る。

25. やる気のある若い方に加わってほしい。そういう方を育てる、グループとか一緒にやれる仲間づくり。
26. 議員報酬を増やさないと若い人は議員になれない。
27. 議員の仕事内容を紹介する機会を広く設ける。子育て中の親向けに、スポーツチームの若者向けに。
28. 地域住民との積極的な意見支援機会をもっとつくられたい。
29. 災害のときの避難所で女性の生理用ナプキンがいやらしいものだと言われたという基本的なことがわかっていない人がいるので、勉強してほしい。女性議員を増やす前にセクハラなど男性が勉強してほしい。
30. 女性議員の定数を3割以上にする。
31. 町民が住んでいる地区ではなく、町を良い方向へ持っていくように考える。
32. 女性議員をもっと増やす。
33. あるべき姿の意味がわからない。
34. 若くて行動力のある人に出てほしい。
35. 区長を議員とするか、議員自体を区会の中に入れて活動すべき。
36. 若年層が議会への関心を持つよう、活動すべきだと思う。
37. 町政や議会がもっと身近になるような雰囲気を作るべき。
38. 町会議員が一番身近な声を直接反映してくれる方であるため、町議員として事にそれを考えてほしい。
39. 町民のためになる政策を立て、実行してもらいたい。
40. 民意の反映させるためのシステム作り。
41. 少数精鋭、費用対効果。
42. 地元の利益代表としてでなく、町全体の視点で議会に変えるべき。例えば災害対策など緊急度や困窮度と優先する議論を定着させるなど。
43. 議員定数を15→12に減らす。議員の給料を増やす。
44. 議員の資格を緩めて若い世代に開放する。
45. 議会の改革、今の体制の打破。
46. 在住区に限らず、町全体を見てください。
47. スマホを使った情報公開、アンケート調査、意見募集。
48. 企業に協力してもらい、政治に興味のある人を集めてもらう(町から少し手当て出すとか)。政治、議会の魅力等を集めた若い方々に知らせる→議会に入る前の勉強会へつなげていく。(議員になる前の知るべきこと、勉強が必要だと思う)。
49. 男女比半々で年齢にはこだわらない。
50. 己に厳しく、議員としての自覚が高い人。間違っても酒に飲まれ他の市町村民に笑われる人でないこと。
51. 女性の数は何人でもいい。もっと町民と関わりを持ち、幅広い年代の意見を聞くこと。他市町村との交流を持つといいと思う。
52. 町政向上に意欲を持つ議員を選び、町の活性になればいいので、無投票は避けたい。
53. もっと早めに立候補を募集してもっと具体的な活動目標を地方新聞に載せてアピールをしたほうがいい。立候補だけでなく、推薦も入れて選挙をすればよいのでは。

54. 町内全域をよく理解し、住民との連携を常にもって議会に反映してほしいと願っている。
55. 議員報酬をアップする。
56. まずは各区の事業に参加し、人脈を増やすこと、高齢でも OK。
57. 町議員の活動をもっとオープンにする。若い人でもこなせるのか(仕事をしながら)よくわからない。
58. 人口動態で定数を考える。
59. 町民と接する場をつくる。
60. 生計の出来る年収にし、若い方が議員になれる道を開くこと。
61. 議員の上限年齢を定める。
62. 年代別に議員定数を決める。
63. 若い方の議員がもっといてもいいと思うが、議員と仕事の両立が大変だと思う。
64. 議員にもっと力を与えるべき。
65. やっぱり選挙をするべきだと思う。
66. 地域代表的な立候補者推薦の環境改革が必要。具体的目的、団体活動の実現、または町及び地域改革の具体的目標達成を持った集まりで立候補者を出せる環境が必要ではないか。現状では地域的な要望、意見等は区長会等の組織がある。現在は議員と区長会はある面ダブリ組織的である。もっと議員が具体的目標を持って活発に取り組めるようなひとに立候補していただきたい。
67. 町民と話し合いの場を持つようにしたら良いと思う。
68. 委員会構成から適用人員の確保。
69. 年齢は誰でも議員がやめるよう、自分の跡継ぎをさがす位動いてもいいと思う。
70. 高い学歴の人を望む。
71. もっと気さくに町民と会話をする期秋を増やしてほしい。
72. もっと魅力のある箕輪町になってほしい。
73. 議会の様子をもっと知らせる。
74. 町民の声を多く把握し、町へ提案していくこと。
75. 議員定数を減らし、その分議員報酬を増やし、質の向上。
76. コロナ自粛などで例年通りできないことがほとんどなので、募金など用途不明なものをなくしてほしい。収入も減少した人が多いため、税金の無駄使いは本当にやめてもらいたい。みんな生きるのに必死です。
77. 区会、常会、PTA 保護者会、老人クラブ、町のスポーツクラブ、文化クラブ、商工会の部会、地区子ども会など会議やサークルに大小に関わらず、公私関わらず積極的に顔を出していただき、住民の小さな意見等を聞いていただく。
78. 議員の資質の向上。
79. 若者の意見を増やすべき。
80. 町民が議会について感心を持てるよう、SNS 等様々な手段を用いて情報を発信していく。
81. 選挙、立候補機関の広報に力を入れる。選挙のハードルを下げる(費用の削減等)
82. 同区から出馬していてもどこに住んでいてどのような考えで出馬しているのか全然わからない、顔も知らない。
83. 選挙になると家族が人が集まって対応することが今の時代嫌になっていると思う。

84. 若者(20~40代)の意見を取り入れてマンネリ化しない町を作ってほしい。意欲のある人を町民がしっかり選んでいただきたいと思う。
85. 議員定数を減少、責任を持って活動できる環境を作る(相応の報酬を確保)。
86. 仕事をしている人が議員になれるようにする。
87. 町民に町政にもっと関心を持ってもらうようにPRする。立候補して町議をやってみたいとなるような町政にする。
88. 町民の声をもっと聞くこと。
89. 少子高齢化及び限界集落になりつつある地区(区)等、地域格差がありすぎるため、町全体での平均化を図る。町の人口を増やす方を議員を中心に町民に考えさせ提案実施させる。
90. 町との馴れ合いになりすぎなければ良い。
91. 若い世代の議員増と女性議員も多くする。生活不安者でも議員になって安定した生活のもと働きやすくすることも必要と思う。
92. 人間として尊敬される人物が議員になってほしい。(町議さんの多くは立派だと思う)。
93. 専業主婦(子連れOK)や会社員(休みの日、リモート)の会議等いろいろ考えて時間の使い方を変えていく。
94. 若い人が興味を持つようにする。
95. 様々な職業の人や女性を増やしたほうがよい。
96. 供託金の値下げ、議会開催時間の変更(夜間など)。労働制度の改革などが必要と感じる。
97. 今回のアンケートだけでも議会について考える良い機会となった。多くの人が議会に目を向けられるようになったらよいと思うが、具体的な策は今のところない。
98. ①議会を夜開き、働く人が見学できる。②比例代表制にして党派別投票にする。③比例代表制(フィンランド)のように各年金、各職業、例えば高校生も議員になれるようにする。
99. 定期的に議員報告会を開く。若手の議員の給与を上げる。
100. 議員報酬のみで会社員と同程度の収入が無いと特に若い人はできない。
101. 町議の役割を明確に見える化する。
102. まず、頭を良い人を議員にすべき、つまり先を見通してリーダーシップを取れる人を選ぶべきだ。バカな議員といくら話してもだめですね。
103. 以前福祉、福祉なんて言っていれば何にもできねーと言っていた議員がいたが、今はいいでしょうね。生活弱者を助ける。
104. 議員活動がわかるようにする。
105. なぁなぁではない活発な緊張ある議会での議論。
106. 議会の必要性を広く町民にアナウンスする。議会の活動の見える化を図る。
107. 国、県に対する意見書の可否について、他市町村に比べて否決が多い。理解力が優れているのか?それともイエスマン?常に問題意識を持ってやってほしい。
108. 人数を減らして給与を払えば若い人が増えますよ!60歳で定年でいいのでは。
109. 人々の集まる場所へ顔を出しいろいろな人から意見を聞く。
110. 議員の活動を広く町民に知らせる。
111. 議員報酬を目的とするような議員をなくし、議員の質の向上を目指す。そのためには町政に町民が関心をもてるような町(役場)の運営を目指す。
112. 質問の意味があいまいで書きようがない。

113. 町民の意識向上。
114. 役場、農協勤務の経験者が多すぎ。もう少し若い人が出るようにする。
115. 地域の住民にも議会を議事を見学する機会がありますか。ぜひ行きたい。
116. 積極的な広報が不可欠だと思う。ある程度女性議員の定数を決める必要があると思う。
117. 町政と距離感がなくなるようにしてほしい。
118. 地区に一人はという考えでなく人数は少なくても全体のことを考える人が集まってくれたほうがいい。
119. 定数 8 割減。その代わり報酬は増やす。箕輪町の住民でなくても立候補できるようにする。
120. 定数を半分に減らして給与は倍にする。少数精鋭にして有能なものを選ぶ。
121. 若い議員が多いと町の活性化に繋がる。近隣の町村に比べて箕輪町は女性議員が少ないので、女性を増やし、視点での町政が必要だと思う。
122. 町民が議会にもっと関心を持つべき。
123. 最初は何か特定の団体などの中から人を推すしかないのではないか。ある程度支持してくれる母体がないと個人では若者は出づらい。
124. 若い人が登場できるように改定すべき。
125. もっと町民との対話をもっても良いのでは。
126. 現在は区の陳情のような質問同様なものも多すぎ。町政をどのように進めるか、具体的な方法を示すことがない。
127. 議員の活動によってくらいや環境をよりよく出来ることを具体的にもって PR し、関心をもってもらおう。
128. 選挙の無投票は好ましくありません。なぜなら議員に適さない人が議員になってほしくない。もし無投票になったら信任投票し、ある一定の票が取れない時は落選とすべき。定員は減ってもしかたがないと思います。
129. 一つの職業であることを理解してもらおう。現在は片手間の職業の様に思われているのでは。
130. 若い者はまだしも高齢者は名誉職とする。無給でも良いレベルの人間でないと良くなりません。若い意見こそ必要。
131. 議員報酬は若い人からしたらあまり多いとは思いませんでした。独身だったらまだわかりませんが、子育ての人がいるのなら報酬を多くして安心して議員になれるようにしたらいいと思いました。
132. 議員報酬は現行の倍以上に引き上げる。育児の応援制度を作る(対女性議員)。
133. 理想はありますが、現実には難しいですね。
134. もっと町の人と話をして親身になることだと思う。福祉タクシーを作ってもらいたい。
135. 若い人たちが気軽に参加できるようにして意見や希望が通るようにできればいいと思う。例えば学校や保育園に意見や希望に関してアンケートをとるなど。
136. 議員人数を減らす。
137. 町に対して思いがあれば職業年齢性別は関係ない。
138. 議員は名誉職であるが、町民の意見・要望を提言し、実行に移す。町民の代表者であることを常に自覚してもらいたい。

139. 議員数削減と報酬の増額、女性の政治への意識を高めるための方策。
140. 「あるべき姿を実現」って意味がわからない。
141. 町に要望などの件で伺うと検討しますとの返事が通常で実際には話は聞いたとのこと（読解不能）です。議員の皆さんにお願いしたいのは検討しますの言葉の前に前向きにの一言がつくと要望が実現するこの現象をご存じでしょうか。一度役場へ行って実情を自分の耳で確かめていただけたら幸いです。
142. 議員報酬の見直し。65歳以上現行、65歳以下増額。
143. 議会を身近なものとする。
144. 40代～50代の議員さんにも頑張ってもらいたい。
145. なれ合いでなくあるいは順番でなく、町民、町のあるべき姿を正しく組織できる人を探す、選ぶ。区からの選出でなく、町全体を見られる方を探す。妬みや嫉みに負けない方はどこかにいらっしやらないか。
146. 議会だよりを読んでも、定型で発展性がない。大きな流れを提起から解決まで追ってほしい。
147. 若い人の意見も必要。
148. 議員とは何か？職業なのか？議員は信任された（読解不能）の代表だということをもっとわかってほしい。議員のあるべき姿をもっと見せてほしい。
149. 議員定数を大幅に減らし、その分を議員報酬に反映させる。
150. 町議会議員の魅力を伝える。
151. 議員がどの団体より支援を受けているのかをはっきり示して自身の思想が考え方を知った上で政策を聞きながら選挙するべき。
152. 抽象的な表現のため無責任を感じる。もっと具体的な質問をすべき、行政はどう…。
153. 地区の住民数から町議会議員を算出し、地区代表として運営してほしいし、もっと若い議員を増やさないと箕輪町にずっと住みたいと思わなくなる。特に若い人は…。
154. 地元の若者との交流機会を増やす。
155. 年齢、性別にこだわらず、意欲のある人が自由に参加できる選挙方法の簡素化、町民の式を変えていくことが必要と思います。
156. 定年後の仕事を考えるのではなく、仕事をやりながら、議会に参画できることを考えるべきだと思います。
157. 基本的には自由であるが企業代表でその責任もあるので活発な動きは期待できるから。企業としても生の声を提案すべきで立候補者を出すべきである。
158. 議員報酬を成果評価で決定し、若い人も議員の報酬でも生活できるよう上げる。
159. 女性議員 40%以上。
160. 議会の開催日時を平日以降に行う。テレワークでの議会を運営。仕事をしながらでも参加しやすい議会にする。町会議員は専門職ではないと思う。
161. 議員になるのは大変だと思いますが、できるだけ地域から1人くらいで出てほしいです。でも現在は年齢が高い方が多いので、難しいかと思います。議員になるのにはそれなりの知識が必要だと思いますので、勉強をすることが必要だと思います。
162. 近代化の進行する中、箕輪町の若者が都会へ移転することを防ぐことに重視して、産業経済をもっと大きく見詰め若者が気楽に町内で生活できたら…と思います。

163. 若い人もいた方がよいと思うが、実際にやりたい人、やれる人はかなり限られてくると思うので現状維持でよいと思う。その分意見の吸い上げは必要。
164. 「あるべき姿」が分からないが、特定の党・思想に偏らず、私利に走らないバランス感覚のある健全な考えをもって構成されれば性別、年齢、職業は問題ないと思う。
165. 小産、少子化、人口減少の進む中、今対応できるのは若者。その若者がすぐ取り組まなければならないという危機感がないと思う。真剣に将来を考えないと町の未来はない。議員の60歳定年制で若者の活躍できる場を提供する。若者を擁立し、若者による町政を目指す。
166. 若年者の育成。
167. 若者が町づくりや地域づくりに参加する施策を進めるべき。
168. 意欲ある若者は多くいる。これをさせないのは行政(町)、企業側にあると考えています。
169. 議会を身近に感じられる方法を。
170. 議会の存在が遠く感じているので私たち世代が身近に感じる施策を行っていくと良いと思います。LINEで意見が気軽に送信できたり、SNSを使ってアンケートを行うなど。伝えたいことがあっても伝える手段がわからない状況です。
171. 議員と町民の間の格差を感じる。町民の中に入ってきてほしい。
172. 町民の声を聞く場を作る。発言しやすい場(インターネット)などつかう。
173. 例えば政策提言を形成する際の現在の議員に加え、補助議員(仮称)が加わるような議員構成の実現。補助議員は地域(地区)より選出し、検討会に参加する際、日当制。会社員や女性、若手も参加しやすい。
174. 議員の質向上を図り、町民との対話の機会を多くしていく。
175. 報酬の金額増。
176. 町政に関心を持ってもらう。若い人は仕事をしなければならない。それに見合った報酬が必要かと思います。地区ごとに出ているように思うので皆がもっと選挙に出れると良いと思います。
177. あるべき姿を明確にして、現在とあるべき姿の差を改善していく。あるべき姿を明確にしないといけない。
178. いろいろ考え方があってと思うので特に「これ」ということがない。
179. 女性の社会進出を促進する風土を作っていく。
180. これからの社会の在り方を考えた上で地方政治を考えるべき。
181. 議会と住民の交流を定期的に行うべき。数が少ないし、やったりやらなかったりで無責任。若い人が立候補しやすいように、若い人の報酬を大幅に増やすことも検討すべき。議会本会議、委員会ともにインターネットに公開すべき、進んでいる議会はユーチューブ等にアップしている。
182. 地元の企業、農業、商店の協力も必要。
183. 古い考えの老人が多い。若い考えがいいとは思えないがやはり古い議会はもういない。
184. 人数を減らし、一人あたりの手当を増加。または人数をもっと増やし、一人あたりの手当を減らす。
185. 町民が本当に思っていることを話せるようになれば良いと思います。
186. 議員の本来あるべき姿は性別や年齢は関係なく、人間性のみだと思います。常に他者の

立場で物事を考えることができる人、弱者の立場を知ろうとし、手をさしのべようとする心持の人、今でなく今をつなげる本来の町や住民を想像できる人格者が議員として選ばれることが大切だと思います。

187. 議会、議員の町政に対する役割を広く町民が理解できるように活動実績としてアピールすることにより、町民が政治、町政に関心が持てるような努力が町、議会、各議員に求められているのではないと思われる。
188. 今の時代は“多様性”が求められていると思う。老若男女、様々な人たちが議会にかかわり、いろんな角度から、視点から、町政を捉え、見直し町民が求める行政をつくっていったらと思う。
189. 志を持って行動していただける人が議員となっていればよい。
190. 議員数削減による。報酬増し、ただの報酬増だと町財政の負担が増えるため、議員数を減らしたうえで行うべき。
191. 高齢者(地域、地区等のしがらみが強くて)後からその地区等に来た者にはどうすることもできない。
192. 選挙費用は抑える方がいいが、定数と立候補者数が同数ならそもそもそんな人数いらぬのではないかと思ってしまう。ただ、無駄をなくすべく人数を減らすことできちんとした仕事ができなくなるのも問題(そうでなければ減らした方がよい)。
193. 小中学生は模擬議会があるが、大人の世代(若い人)対象の模擬議会があってもいいと思う。何かのイベントの一つの企画として。。。
194. 町政に対する強い責任感、緊張感をもって町政にあたる。
195. 若者が出る場合仕事や子育てに追われ、議会に出席する率が負担になると思う。また、女性の議員を増加するにしても年齢が上の人がいると意見を言いにくくなると思うので、ある程度の年代で区切って選挙に出やすくする(例として 20 代代表、30 代代表など)。IT を活用して定例議会の出席負担を少なくするなど。
196. 町当局者との懇談会、協議会、委員会、個人的圧力等で実現している多くのことがあるだろうが、定例議会ではそうした場面が見られないので、議会の存在価値が感じられない町民も多いと思う。議会からの町への提言強化や議会における町議員双方への反対、また付与や再質問等を認め、真の意味での二元代表制を目指してほしい。
197. 立候補者がいなければ仕方ないと思う。学校の授業で議会を傍聴したり、中学生の議会体験などの機会が増え、経験として残れば将来の若手が増えるかもしれない。
198. 志のある人であれば年代、性別は問わない。
199. どのような活動を行われているのか、広く知らせていただきたいです。活動の内容を知り、町議会員になりたい方が増えるかもしれないと思ったからです。
200. もっと人数を減らして報酬を上げてやる気のある人のみにする。
201. 地域の団体とのつながりの強化。特に今までつながりの無い団体との。
202. 議員は戸別訪問をして無駄話の中からアイデアを得ると良い。
203. 幅広い色々な年代の人が関心を高めることが必要だと思う。
204. もっと若い人になってもらい、若い意見がほしい。若い箕輪にしてほしい。